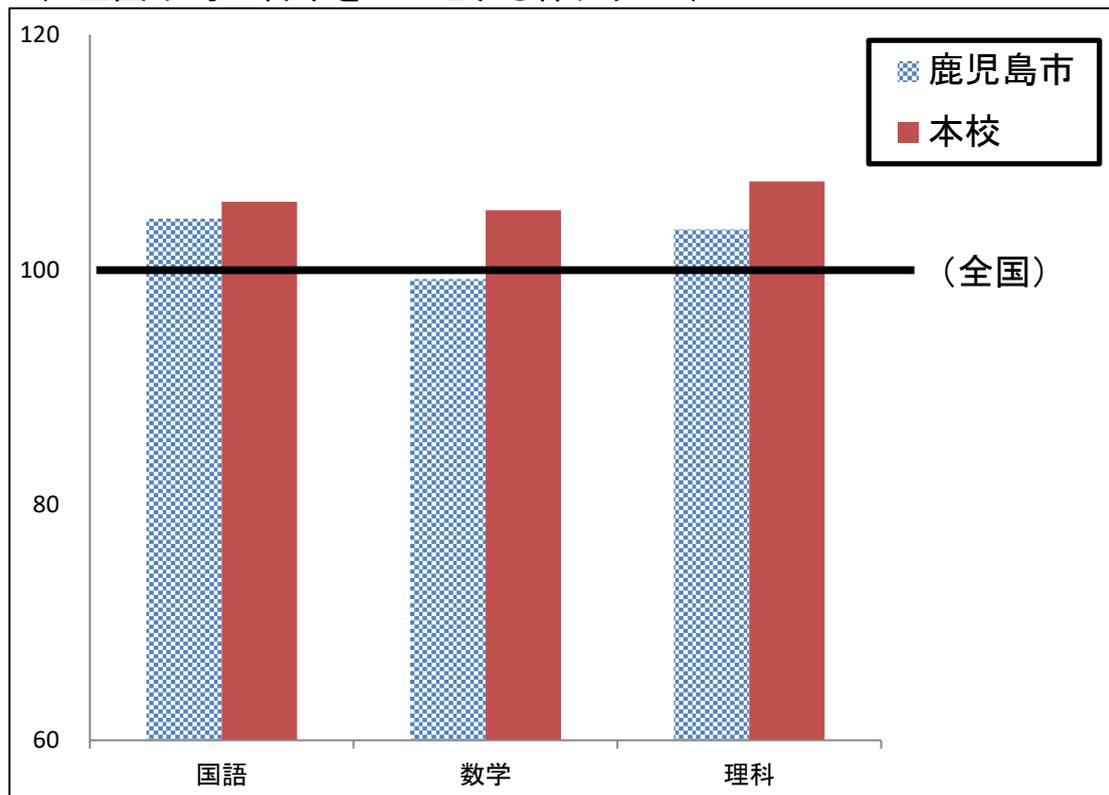


# 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について 伊敷中学校

## 1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



## 2 自校の課題に対する改善策

### 〈国語〉

知識・技能においては、情報の扱い方に関する問いがわずかに県通過率を下回り、課題が見られました。また、思考・判断・表現においては、書く領域の問いに課題が見られました。普段の授業で三角ロジックの活用を図り、自分の体験や資料等から得た情報を根拠として、理由付け、主張をまとめる活動を取り入れるなど、論理的な思考を促せるような指導の工夫に取り組んでまいります。

### 〈数学〉

思考・判断・表現を必要とする問題で、主に理由を記述する問題に対して課題が残りました。前研究での説明テンプレートを用いて、筋道立てて考えることをしつつ、一つの単元や授業での見通しをもたせるための活動を取り入れることで、主体的に課題を解決する力を付ける指導の工夫に取り組んでまいります。

### 〈理科〉

知識・技能に関する問題で、力の作図に関する内容に課題が見られました。また、思考・判断・表現においては、既有知識を他の現象に当てはめ検証する問いに課題が見られました。目に見えないものを可視化する方法の定着を図るとともに、学習した知識を身近な事象に当てはめ検証する活動を取り入れるなどし、概念的知識の定着につながるような指導の工夫に取り組んでまいります。

### 〈全体的に〉

#### ○ 生活面

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は県・全国と比較して、家庭でのルールを守り、規則正しい生活を送っている生徒が多く見られます。また、地域行事への参加率が高く、「いじめはいけないことである」というような規範意識を高くもって行動している生徒も多く見られました。一方で、自己肯定感が低かったり、学校に行くことを楽しいと思っていない生徒が見られたりするといったような課題が見られました。

これらの対応策として、全教育活動の中で道徳的な指導を心掛け、生徒のよいところを褒めることを意識していきたいです。また、家庭や地域との連携をさらに充実させ、生徒に関するサポートを共通理解していきたいです。

#### ○ 学習面

本校の生徒は授業における意見交換を楽しんでいると感じており、家庭での学習時間は全国平均より多いです。また、授業ではICTを多く使用しており、生徒もICTは有効であると感じているようです。一方で、課題解決に向けて、自ら主体的に取り組む姿勢に課題が見られました。

これらの対応策として、まずは各教科で授業において見通しをもたせる活動を取り入れていきます。また、家庭学習においてもその日学習した内容を振り返ったり、これから学習する内容の見通しをもたせるなどして、生徒の主体性を育てていきたいです。

